

発行：富山県高岡農林振興センター 高岡市赤祖父 211 高岡総合庁舎 2階 TEL (0766) 26-8474 FAX (0766) 26-8475

ホームページは高岡農林振興センターで検索!!

高岡農林振興センター

検索



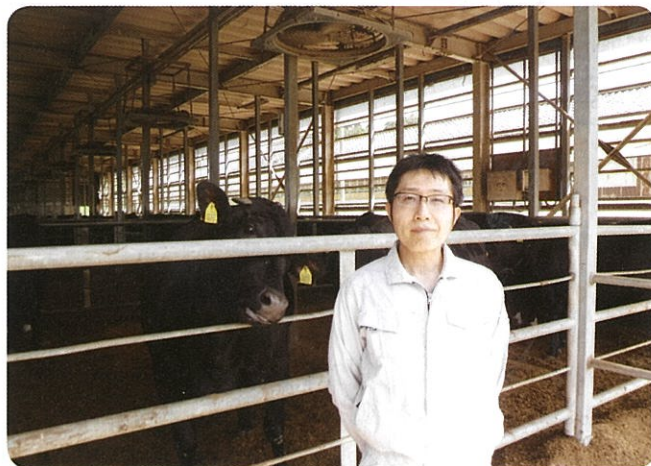
余川ぶどう生産組合の醸造用ぶどう栽培 (P4に本文)



ムスカリの球根切り花 (P5に本文)



食彩ふるさと論田加工グループ (P7に本文)



青年農業者紹介 山本雄大さん (P7に本文)

### 目次

- 水稻のニカメイチュウ対策について…………… P 2
- 水稻刈跡の雑草防除について…………… P 3
- 農作業中の熱中症対策について…………… P 3
- 有機農業の取り組みについて…………… P 4
- 余川ぶどう生産組合の取り組みについて…………… P 4
- 株式会社 赤丸農産の取り組みについて…………… P 5
- イノシシ被害の防止対策について…………… P 5

- 環境負荷低減事業活動計画認定制度のご案内 P 6
- がんばる女性農業者…………… P 7
- 食彩ふるさと論田加工グループ
- 青年農業者 リレー紹介 山本雄大さん…………… P 7
- 求人情報掲載手続きの紹介(就農ナビ)…………… P 8
- とやま農業未来カレッジ研修生の募集…………… P 8
- 農業関係表彰管内受賞者のご紹介…………… P 8

# 水稻のニカメイチュウ対策について

～生息密度の高い圃場での秋耕等対策の紹介～

近年、ニカメイチュウの被害がみられる圃場が増えています。さや枯れや心枯れがみられてからの防除は困難なため、ニカメイチュウの発生生態を知り、秋耕等と苗箱施薬剤を組み合わせ、秋から春の幼虫密度を下げるのが一番の対策となります。

## 1 ニカメイチュウ（ニカメイガ）の発生生態

通常は年2回発生し、主に刈株内や稲わらで幼虫で越冬します。

**1回目** 越冬幼虫は多発生圃場で多く生息し、翌年の春先に入水されると、近隣ほ場に移動して蛹になり、越冬世代成虫となって、近くのイネの葉に産卵します（葉色の濃い、太い茎のイネを好みます）。

6月上旬頃から孵化した**第1世代幼虫**は、イネの茎内に侵入し、さや枯れや心枯れといった被害をもたらします。

**2回目** 次の第1世代成虫は、よりよい産卵場所を求め、移動・分散することもあります。7月末頃から第2世代幼虫はイネの茎内部に侵入し、出穂前の食害では「出すくみ」、出穂直後の食害では「白穂」となり、水稻の収量・品質を低下させます。

また、大きく育った幼虫は、イネの茎の基部に移動して越冬し、翌年の被害につながります。



写真 イネの茎内に侵入し、加害している幼虫

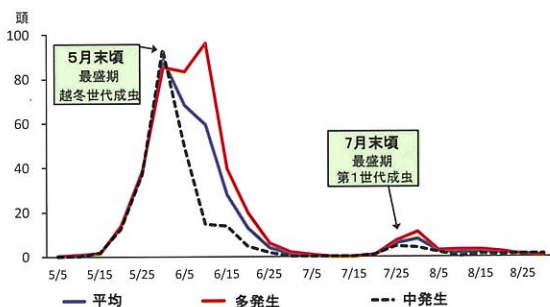


図1 県内におけるニカメイガ(成虫)の発生推移(H24)

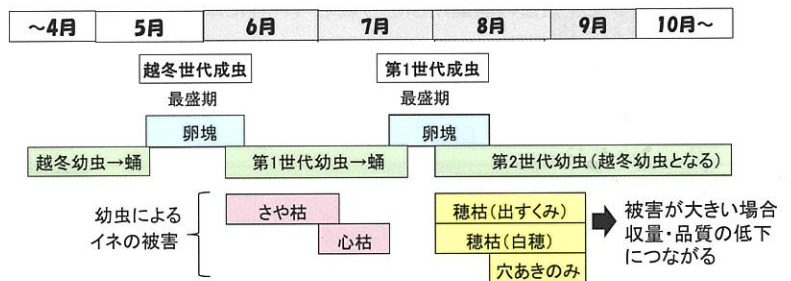


図2 県内におけるニカメイチュウの発生生態(移植コシヒカリ)

## 2 秋耕と冬期湛水で越冬幼虫の生息密度を減らす（福井県農業試験場の試験結果より）

幼虫の越冬場所である刈株や稲わらを埋没させることで、越冬幼虫を減らすことができます。

### (1) 秋耕

〈時期〉10月下旬～11月上旬頃（早い時期の秋耕では、幼虫が移動します。）

〈方法〉刈株を細かく裁断し、稲わらを十分にすき込むため、ゆっくり深く耕します。

（目安：深さ15cm、速度1km/時）

### (2) 湛水

〈時期〉11月下旬～2月末（幼虫が休眠して動かなくなる11月下旬頃に開始します。）

〈方法〉暗渠を閉めて、土壌表面が半分見え隠れする程度に雨水等をためます。

## 3 移植栽培ではニカメイチュウに効果の高い苗箱施薬剤を用い第1世代幼虫の被害を減らす

秋耕と冬期湛水で越冬幼虫の生存率はかなり減りますが、移植の場合、ニカメイチュウに効果の高いジアミド系の殺虫成分を含む苗箱施薬剤を施用するのが効果的です。

最近では、直播栽培でも第2世代幼虫による被害がみられます。移植、直播ともに、被害の多い圃場は秋耕と冬期湛水を行い、越冬幼虫の密度を下げて、翌年の被害を減らしましょう。地域ぐるみで実施するとより効果的です。

（農業普及課射水班）

## 水稻刈跡の雑草防除について

～次期作での雑草防除の省力化へ向けて～

水田雑草は一度多発すると多量の種子や塊茎が土中に残り、次年度以降の防除が困難になります。水稻刈取後の雑草対策により次期作の負担軽減が図れるので、雑草の種類を見極め、草種に応じた対応を講じましょう。

### 1 「種子」で越冬するイネ科雑草（ノビエ、雑草イネ）

水稻刈取時にイネ科雑草の種子がほ場表面に多く落ちた場合は、種子発芽枯殺効果を有する除草剤（プリグロックスL）を、雑草種子に付着するよう秋耕前に散布します。

なお、早生ほ場をはじめとして、刈り跡を何もせずに放置すると、水稻のひこばえだけでなく雑草も二番穂を出し種子を落とすので、種子が成熟する前に耕起等を行いましょう。

### 2 「塊茎」で越冬する多年生雑草（オモダカ、クログワイ、ミズガヤツリ等）

秋に塊茎を形成する雑草は水稻刈取後に耕起することで、塊茎を冬季の低温と乾燥状態にさらし、ある程度死滅させることができます。

また、塊茎の形成を止めるため、秋耕前に非選択性の茎葉処理剤を処理し、雑草の地上部を枯らすことも有効です。ただし、稲わらに覆われて雑草に除草剤がかからない可能性があるため、刈取りから2週間ほど経過し雑草が再生してから散布したり、水稻を高刈りして雑草の茎葉部がわらの上に出やすくする必要があります。

### 3 「株」で越冬する多年生雑草（セリ、アシカキ、キシウズズメノヒエ等）

畦畔や畦畔際で繁茂するため、刈り跡や荒起し前に、畦畔でも使用できる非選択性の茎葉処理剤（ラウンドアップマックスロード等）を、雑草の茎葉部に直接かかるよう散布します。

（農業普及課氷見班）

## 農作業中の熱中症対策について

農作業中の死亡事故の要因では農業機械作業に係る事故の次に多いのが「熱中症」です。熱中症での死亡の割合は、近年増加傾向にあります。日々の体調管理に気を付けて農作業を行ってください。

### 暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しの良い場所で作業



### こまめな休憩と水分管理

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



### 単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡を取り合う  
携帯電話を持っていく



### 熱中症アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、  
空調服や送風機の活用等



熱中症アイテム集

農林水産省HPより

（担い手支援課経営支援班）

## 有機農業の取り組みについて

### ～とやま有機農業推進アドバイザー制度の紹介～

本県では、「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」に基づき、「富山県みどりの食料システム基本計画」を令和5年に作成し、環境負荷低減に関する取組みとして、有機農業の取組面積を令和2年度の219haから令和8年度には300haとする拡大目標を掲げています。

しかし、有機農業は個々のほ場の環境条件に応じたきめ細かな栽培技術が必要であり、知識や経験等を含め普遍的な技術として体系化し普及することは困難です。

そこで、有機農業の先進的実践者を「とやま有機農業推進アドバイザー（以下、アドバイザー）」として委嘱し、有機農業を志向する方からの相談に応じる体制を整備しました。現在のところ、下表の5名がアドバイザーとして委嘱されています。

農林振興センターが窓口になり、アドバイザーに指導および助言を要請しますので、有機栽培を志向する（関心のある）方は、お問い合わせください。

表 とやま有機農業推進アドバイザー（令和5年7月時点）

No.	アドバイザー	住所	品目	特徴
1	(有)小原営農センター 宮田香代子氏	富山市	水稲、大豆、そば、野菜	・有機 JAS 認定を取得 ・有機栽培による大規模経営
2	(有)土遊野 河上めぐみ氏	富山市	水稲、養鶏、野菜	・有機 JAS 認定を取得 ・養鶏と水稲の循環型農業
3	杉林 外文氏	富山市	野菜	・独自の土づくり技術 ・肥料・農薬・動物性堆肥を使わない栽培
4	(同)NICE FARM 廣 和仁氏	氷見市	野菜、水稲	・肥料・農薬不使用の自然栽培 ・自家採種
5	蕨口 潔氏	南砺市	水稲、野菜(ニラ)	・有機 JAS 認定を取得 ・南砺市有機産地づくり委員

## 余川ぶどう生産組合の取り組みについて（紹介）

### ～水田転換畑で醸造用ぶどうを栽培開始～

余川ぶどう生産組合は、氷見市余川地区にあるワイナリー「株式会社 T-MARKS（セイズファーム）」が栽培する醸造用ぶどうに着目し、余川地区の地域活性化や雇用創出を目的に、令和3年12月に発足、組合員13名で醸造用ぶどう産地化への取り組みを開始しました。

生産開始にあたり、余川地区の水田を畑に整備し、産地生産基盤パワーアップ事業のうち園芸作物等の先導的取組支援(果樹)、稼げる！とやまの園芸産地支援事業等を活用し、令和4年11月、約1.9haの面積に、3品種、約4,500本の苗木を植栽しました（写真1）。

令和7年には約3tの収穫を見込んでおり、生産したぶどうは(株)T-MARKSに出荷し、ワインに加工されます。

組合員全員が果樹栽培初心者ですが、高品質の原料を生産し、県内外の多くの方に味わってもらうことを目標に、(株)T-MARKSと連携して栽培講習会を開催し、栽培技術の向上に努めています。

現在は、新梢管理、草刈り、防除を実施し、樹形育成に取り組んでいます（写真2）。



写真1 苗木の植栽作業（R4.11）



写真2 新梢管理作業（R5.7）

（担い手支援課園芸振興班）

## 株式会社 赤丸農産の取り組みについて（紹介）

～冬期園芸品目にチューリップ等球根切り花を導入～

(株)赤丸農産（高岡市福岡町）は、冬期の労働力の有効利用と収益確保による経営の安定化を図るため、令和4年度から1～2月出荷のチューリップ、ムスカリやスイセン等の球根切り花栽培に取り組みました(写真1)。

栽培方法は、連作障害や花飛びによる出荷率の低下を防ぐため、ボックス栽培(写真2)とし、初年度に7品目約3万本を、JA高岡を通じて県内外の市場に出荷しました。

(株)赤丸農産では、このチューリップ等球根切り花の生産が経営安定化に有効であることを実感され、令和5年度、補助事業を活用してハウスを新設し、12～3月に約24万本の球根切り花を生産する計画を進めています。

12月・3月出荷の新たな作型の導入や生産量が約8倍に増大すること、品目によっては生育適温が異なること等から、当センターでは、作型や品目に応じた栽培管理の重点指導を行い、栽培技術の早期定着に向けた支援を行うこととしています。



写真1 ムスカリ切り花(球根付き)



写真2 BOXによる球根切り花栽培

(担い手支援課園芸振興班)

## イノシシ被害の防止対策について

～電気柵の見回り点検をしましたか？～

県では、8月1日を侵入防止柵一斉点検日として、その前後1週間で県内一斉見回り点検運動を推進しています。今シーズン、まだ点検を実施していない場合は、農作物被害の防止徹底を図るため、早急に電気柵、恒久柵の見回り、点検をお願いします。

◎電気柵周りの管理作業負担の低減について（ご紹介）

イノシシ等の鳥獣被害のある地域では、水田や畑地の周りに電気柵や恒久柵などの設置が行き渡ってきました。しかしながら、電気柵の下草刈りが行われず、電気柵の効果が十分発揮されないケースがあるようです。実際、農家の方からも「電気柵の効果を維持するには、周辺の草刈りが大変」という声が寄せられています。

そのような方には、防草シートに電線が織り込まれた「導電性防草シート」をご紹介します。畦畔に雑草が繁茂すると、電気柵が電線を短絡して電圧が下がり、イノシシを追い払う効果が失われる、電気柵の支柱が邪魔になって草刈りが余計に疎ましくなるなどの不都合が生じますが、導電性の防草シートは一度敷設すれば、ひとシーズン草刈り作業に煩わされずに電気柵を維持できます。電気柵周辺の草刈り作業にお悩みの方は圃場1筆からお試しいただければと思います。

(企画振興課)

# 環境負荷低減事業活動計画認定制度のご案内

～エコファーマー認定制度が新しくなりました～

みどりの食料システム法に基づき、エコファーマー認定制度に代わり、令和5年3月より「環境負荷低減事業活動計画」認定制度が始まりました。

環境負荷低減にかかる取組みを行うことで、農業改良資金の償還期間の延長や所得税・法人税に関する特別償却の支援を受けることができます。



## 1 対象となる取組み

### (1) 土づくり、化学肥料・化学農薬の低減

＊旧持続農業法（エコファーマー制度）と同様の取組み

### (2) 温室効果ガスの削減 ㊦

燃油使用量等の低減を図るための省エネ設備の導入

メタン排出量低減のための家畜排泄物の強制発酵や脂肪酸カルシウムの給与

水田における中干し期間の延長等

### (3) プラスチック被覆肥料の排出抑制等 ㊦

その他農林漁業に由来する環境への負担低減を図る事業

(1)、(2)、(3)のいずれかで認定を受けることができますが、旧エコファーマーを引き続き利用される場合は(1)の取組みを行ってください。



みどり投資促進税制について

## 2 支援措置

### (1) 農業改良資金の償還期間の延長（10→12年）

### (2) 所得税・法人税に関する特別償却 ㊦

みどりの食料システム法に基づく計画の認定を受け、一定の設備等を取得した場合、導入当初の税負担を軽減できます。（みどり投資促進税制）

## 3 エコファーマーの取り扱いは

対象となる取組みの(1)の土づくり、化学肥料・化学農薬の低減を実施される方はエコファーマーの愛称とマークを使用できます。

旧制度で認定期間が終了していない方は引き続きエコファーマーを使用できますが、支援措置(2)の支援を活用したい方は、新たな計画の認定申請をしてください。

## 4 申請の手続きについて

関係書類を受け付け期間内に富山県高岡農林振興センター窓口へ提出してください。

	受付期間	認定時期
1回目 受付期間終了	R5.3月～R5.7月	R5.8月末
2回目	R5.10月～R6.1月	R6.2月末

＊税制特例を希望される場合は、対象機械等の購入前に認定を受ける必要があります。

＊認定時期は、申請状況等に応じて変更になる場合があります。

## 高岡農林振興センターHP

<https://www.pref.toyama.jp/1632/sangyou/nourinsuisan/1632/shinchaku/230331.html>

富山県HP <https://www.pref.toyama.jp/1612/sangyou/midorikeikaku.html>



高岡農林振興センターHP



富山県 HP

(担い手支援課経営支援班)

## がんばる女性農業者

～「食彩ふるさと論田加工グループ」(氷見市)～

食彩ふるさと論田加工グループは、氷見市論田地区で草餅を作っている農村女性グループです。

論田の草餅は、地元のもち米とヨモギの新芽をたっぷり使った、さわやかな風味と程よい甘さのあんことの組み合わせが絶妙に美味しいと口コミで人気ที่広がり、地域の名物として愛されています。連日直売所では即完売するほど大人気で、今では富山市内のアンテナショップでも定期的に販売され、多くのファンを喜ばせています。

同グループは約20年前に、地域の女性たち4人で結成され、ふるさとの味を守ってきました。しかし、高齢化等により引退することになり、加工活動の継続が危ぶまれました。論田の草餅を絶やしたくないという思いから、自治会などの協力を得て新メンバーを募り、技術継承のための研修会を何度も開催し、今年2月から8名による体制で再スタートしています。

この草餅を安定的に製造するために、摘み取ったヨモギの買取のほか、地域では新たにヨモギの栽培が始まり、もち米の生産も拡大され、農村地域の活性化にもつながっています。新体制になって数か月、自然の恵みとふるさとへの思いが詰まった伝統の味を守り続ける、新メンバーの熱い思いと行動力に今後も期待しています。



草餅づくりに取り組む新メンバー



ヨモギたっぷりの草餅

## 青年農業者 リレー紹介 第6回

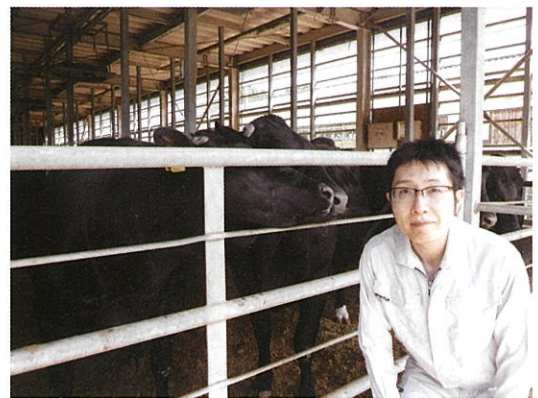
～山本雄大さん(高岡市)～

山本雄大さんは高岡市福岡町栃丘の山本牧場で肉牛を肥育しています。雄大さんは大学卒業後、祖母が体調を崩したのをきっかけに子牛の世話を手伝い始め、平成18年に祖父の代から3代目の肥育農家として就農されました。

山本牧場では、県内産のイネ WCS などの飼料を多く与えるなどの工夫をしながら空気の良い山間の環境で肉用牛を育てており、増体の良い上質な肉を生産しています。

就農してからは、HITS(氷見射水高岡地区青年農業者協議会)に入会し、農業祭やイベントに参加する中で青年農業者同志のつながりから、精肉業者や飲食店、消費者等と交流を重ね、令和4年度富山県農業者会議では「越中万葉牛」を題材とした意見発表で最優秀賞を受賞されました。新しい仲間が増えるなか、ご意見番として重要な役割を果たしておられます。

山本牧場の牛肉は、市内の精肉業者により「越中万葉牛」のネーミングで販売され、高岡市のふるさと納税の返礼品に提供されています。また、地元の農業生産法人と連携した地域ブランド牛「寿五位 高岡牛」(すっごい たかおかぎゅう)の販売も始まっており、地域の活性化のための重要な担い手として今後の活躍が期待されます。



(担い手支援課経営支援班)

## 求人情報掲載手続きの紹介（とやま就農ナビ）

（公社）富山県農林水産公社では、就農ポータルサイト「とやま就農ナビ」を開設し、県内農業法人等の求人情報の紹介を掲載しています。求人を希望される経営体の方は（公社）富山県農林水産公社または高岡農林振興センターにお問合せください。



とやま就農ナビ

## とやま農業未来カレッジ研修生の募集

「とやま農業未来カレッジ」では、農業の基礎知識や実践的技術を体系的に修得できるよう座学講義や実習による通年研修を行っています。募集は下記のとおりで、募集要項は農林振興センターや市、JAの就農相談窓口などで配布しています。最寄りの相談窓口へお気軽にご相談ください。

### ◆令和6年度（第10期）通年研修生の募集等スケジュール◆

（受講期間：令和6年4月～令和7年3月）

- (1) 募集期間：令和5年7月28日(金)～11月2日(木)
- (2) 定員：25名
- (3) 応募資格：県内での就農を希望し、1年間通学可能で卒業時点で原則50歳未満の者
- (4) 受講料：年額118,800円(予定)  
※受講料の他に教科書代、実習教材費、被服費等が必要
- (5) 選考：令和5年11月26日(日) 作文及び面接
- (6) 結果発表：令和5年12月15日(金)
- (7) 募集要項：ホームページからダウンロード  
URL <https://taff.or.jp/nou/college>
- (8) 問い合わせ先：公益社団法人富山県農林水産公社  
とやま農業未来カレッジ TEL：076-461-3180



とやま農業未来カレッジ

## 農業関係表彰管内受賞者のご紹介

### ○令和4年度富山県農業振興賞

（令和5年2月14日）

各部門において農産物の品質や単収の向上、低コスト化等を図るとともに、地域のリーダーとして優れた成果を上げた個人や団体を表彰する制度で、今回、右の皆さんが受賞されました。

部門	受賞者名
米部門（個人）	田中 智浩（射水市）
麦部門（集団）	農事組合法人 加納営農組合（氷見市）
〃	農事組合法人 道明アグリ（小矢部市） （合せて「全国米麦改良協会長賞」を受賞）
大豆部門（個人）	澤田 茂信（高岡市）
園芸部門（個人）	茅原 享（高岡市）
園芸部門（集団）	久目串柿生産組合
指導者	黒田 隆弘（射水市）

### ○令和4年度ワクワクとやま農林水産奨励賞（農業部門）（令和5年2月14日）

農林水産業の若い担い手を顕彰する知事賞です。高田 定道氏（小矢部市）は、地域の担い手経営体の手本となる経営の複合化や6次産業化の取組み、青年農業者のリーダーとして地域活性化に貢献されていることなどが評価され受賞されました。

### ○令和4年度農業電化推進コンクール農業電化協会長賞（令和5年6月20日）

本賞は、農業の電化により、生産性や農畜産物の品質の向上等に取り組むとともに、農業経営や技術の改善に努め、地域社会の発展に貢献している者を表彰するもので、今回、有限会社 村井農園（高岡市）が、ユリ球根の冷蔵処理により栽培期間の短縮と安定的な生産が評価され受賞されました。

受賞された皆様、おめでとうございます。

（担い手支援課経営支援班）